

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
平成 26 年度 第 12 回（3 月）理事会 議事録

- ◇ 日 時： 平成 27 年 3 月 12 日（木）午後 6 時 30 分～7 時 45 分
- ◇ 会 場： 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、清水、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、久保田、後藤、栗本監事、柴監事、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者： 田畑
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（2 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

日臨技近畿支部幹事会が 2 月 28 日開催され以下について報告・検討した。

1. 支部研修会について

- ・平成 26 年度素部研修として、7 部門 8 研修が行われた。
- ・平成 27 年度支部研修は、9 部門 10 研修が行われる予定。

2. 第 54 回近畿支部学会（神戸）について

- ・参加者数：1,038 名、非会員 67 名、実務委員 137 名、招待者 15 名、展示関係者 147 名、学生 158 名、その他 167 名、合計 1,729 名であった。

3. 支部学会、IFBLS 学会、日臨技全国学会は各都道府県が協力してすすめる。

4. 第 65 回全国学会テーマは「challenge」—伝統の継承と未来への進化—

5. 2016 年全国健康展会場は近畿が担当する。

6. 平成 27 年度検体採取講習会は、5 月 9 日・10 日関西医科大学（枚方）で開催される。

2. 事務局

〈総務部〉2 月 18 日（水）に部会を開催した。

- ・近畿支部学会の広報について検討した。
- ・大臨技ホームページ及び CMS 化について検討した。
- ・メーリングリストについて検討した。
- ・大臨技ニュース 1 月号を発行した。
- ・大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉2 月 18 日（水）に部会を開催した。

- ・1 月度収支決算書を作成した。
- ・2 月分事務員給与及び事業費を送金した。

〈渉外部〉2 月 17 日（火）に部会を開催した。

- ・ 平成 26 年度大臨技・大放技合同フォーラムの報告を行った。
- ・ 平成 26 年度第 2 回献血推進活動（2 月 28 日）の進捗状況について報告を行った。
- ・ 全国検査と健康展について説明を行った。
- ・ 来年度事業計画について討議を行った。

3. 事業局

〈情報組織部〉2 月 20 日（金）に部会を開催した。

- ・ 技師長会の配布資料を作成した。
- ・ 技師長会と検査データ標準化推進事業報告会との時間配分確認を行った。

〈地区事業部〉2 月 19 日（木）に部会を開催した。

- ・ 日臨技近畿支部学会の広告・展示・ランチョンセミナー申込み状況を確認した。
 広告、展示、ランチョンセミナーは目標数を達成。機器試薬セミナーに空きあり。
 目標額は達成した。
- ・ 施設連絡者会（3 月 4 日（水）18：40 から大阪産業創造館 6 階会議室 E にて開催）について最終打合せを行い、役割分担および施設連絡者へ葉書で開催案内を送付することを決定した。
- ・ マタニティカーニバル 2015（5 月 30 日（土）～31 日（日）、場所：インテックス大阪）のボランティア募集を 3 月から開始することとした。
- ・ 会員交流会（7 月 25 日開催予定）は、情報組織部の新人研修会と合同で開催することとした。

〈学部部〉2 月 24 日（火）に部会を開催した。

- ・ 日臨技近畿支部医学検査学会に関して検討した。
- ・ 来年度の事業に関して検討した。
- ・ 今年度と来年度の会計について検討した。

III 他、報告

1. 平成 27 年度事業計画案について（運天会長、竹浦副会長、吉本副会長）

- ・ 大臨技ニュース 3 月号に掲載する平成 27 年度事業計画案の内容を、大阪府への報告内容と整合させるため、各事業名に公益事業分類名（公 1、公 2、公 3）の表記を付け加えることとした。

2. 検体採取に関する厚労省指定講習会について（高田常務理事）

- ・ 平成 27 年 2 月 28 日（土）～3 月 1 日（日）、3 月 7 日（土）～3 月 8 日（日）に関西医科大学枚方キャンパスにて検体採取等に関する厚生労働省指定講習会が開催され、1 月 24 日・25 日開催の講習会と合わせ約 900 名が受講を終えた。
- ・ 事前の日時変更申請した場合や、止むを得ない理由で当日欠席した場合は申請すれば払込受講料が流用され後日受講が可能となる。
- ・ 平成 27 年度の講習会日程については、大臨技ホームページのスケジューラーに掲載する。

3. 第 10 回臨床検査教育機関懇談会について（竹浦副会長）

- ・ 第 10 回臨床検査教育機関懇談会を 3 月 25 日（水）19：30 から大臨技事務所にて開催する。
- ・ 例年通りの報告事項および議題に沿って開催し、各部長と広報担当者が参加する。

4. 平成 27 年度大臨技会員証・大臨技登録学生カードについて（吉本副会長）

- ・ 平成 27 年度大臨技会員証は、基本色を青色としデザインは昨年と同一とする。

- 平成 27 年度大臨技登録学生カードについては、デザインを昨年と同一とし、今年度に領収書の発行依頼が多数あったため、カードの一部に領収証を付加することとした。

5. その他

- 1) 看護の日実行委員会が 3 月 16 日（月）に開催されることになり、杉山理事が出席する。
- 2) 大臨技登録学生制度について、他府県の教育施設より問い合わせがあったことを受け、登録条件として大阪府下の教育施設の学生が対象であることを付け加えることとした。
- 3) 糖尿病療養指導士部会担当の研修会に参加した会員から参加証明書の発行依頼あった場合、捺印したシールを渡すこととした。
- 4) 2 月 27 日（金）に大阪府薬剤師会館にて府民健康フォーラム 3 団体の打ち合わせ会があり、下記の報告ならびに決定事項があった。
 - 平成 26 年 11 月 9 日（日）開催された第 10 回府民健康フォーラムの参加者数は 256 名（一般：45 名、薬剤師：95 名、臨床検査技師：36 名、栄養士：80 名）であった。
 - 第 11 回府民健康フォーラムは、平成 27 年 10 月 25 日（日）ブリーゼプラザ小ホールにて開催され、テーマは COPD（慢性閉塞性肺疾患）である。
- 5) 2 月 28 日（土）に開催された平成 26 年度献血推進活動について下記報告があった。
 - なんばグリーガーデンでの献血受付数 66 名、採血数合計 50 名（採血数内訳：400mL 採血数 50 名）
 - まいどなんば献血ルームでの献血受付数 93 名、採血数合計 84 名（採血数内訳：200mL 採血数 7 名、400mL 採血数 47 名、成分採血数 30 名）

IV. 議 題

1. 大臨技ホームページについて（栗本理事）
 - 外注化に伴う維持管理費は、2 社からの概算見積によると年間 24 万円（最少）～60 万円（最大）必要である。
 - 外注先による作業内容は、データの更新作業（メールによる依頼）、CMS データも含めたデータ更新時および週 1 回のバックアップ作業である。
 - 新規ページの作成は別途費用が発生する。
 - 現行の会員専用ページは無くすこととする。
2. 平成 27・28 年度監事候補者の選出について（運天会長）
 - 平成 27・28 年度監事候補者として、現監事の柴氏ならびに栗本監事の辞任に伴い現常務理事の荒木氏の 2 名を選出することとした。
3. 平成 27 年度定時総会について（吉本副会長）
 - 平成 27 年 5 月 28 日（木）19：00～20：30、大臨技事務所にて開催する。
 - 開催案内と委任状は、大臨技ニュース 4 月号に同封する。
 - 委任状の回収期日は、4 月 30 日（木）必着とする。
 - 議案審議については、第 4 号、第 5 号議案は理事会にて承認済みのため報告のみとする。
 - 議事録については、今総会より議事録署名人を無くし、定款第 19 条に基づき議事録には議長および出席理事の記名押印をすることとする。
 - 総会開催に伴い 5 月の理事会は第 1 木曜日（5 月 7 日）に開催する。
4. その他

- 1) 大臨技ニュースの発行部数について（山田理事）
 - ・ 会員数の増加等に伴い、来年度から大臨技ニュース発行部数を現行の 3,800 部から 4,000 部へ増刷することが承認された。
 - ・ 増刷に掛かる費用は月約 1 万円となる。
 - ・ 増刷時期は会員の増加状況等に合わせて決定する。
- 2) データ標準化事業の備品購入について（竹浦副会長）
 - ・ データ標準化事業において、現在、借用使用している分注機を大臨技が購入し保管することについて承認された。
- 3) 学術部における備品購入および資料の販売について（高田常務理事）
 - ・ 生理部門で購入したビデオカメラおよび研修会用資料（DVD）販売について、再度、検討することとした。

以上